

今年度1期生・2期生を迎えました。異なる母語が飛び交う、賑やかなスタートをしています。

今号では、江南教室の学習環境についてご紹介します。在籍校での生活に近い環境を作り、10週間の中で仲間とともに一歩ずつ自信をつけられるよう支援しています。

◇大型テレビとタブレット端末の配備により、ICTを活用した授業を多く行っています。10週間の中でタブレット操作やプレゼンテーションの仕方を学びます。



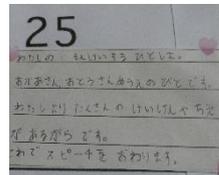
◇江南中図書館の貸し出しを行い、日本語多読本を置くことで、読書の機会を増やしています。家庭で、あるいは在籍校での朝読書時間で読みたいと、本を借りていく通級生もいます。



◇1日の見通しは日本語レベルに合わせて提示し、自分で見て動けるよう支援しています。



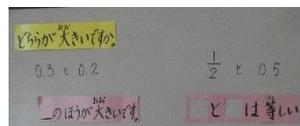
◇朝の会で1分間スピーチをしています。「話す・聴く・書く・読む」+「反応する」力を皆で伸ばす目的です。



◇一人一役。係と当番をします。先に入級した生徒が自然と助けます。



◇前日に学習したことを残しています。登校すると、皆で解いています。



◇知りたかった言葉や新しい言葉を書き込む「じぶん」辞書をおいています。



江南教室での一コマ

日本語のレシピを読み、班員と協力して動物パンケーキを作りました。



昼休みに、江南中生とサッカーを楽しむ姿が見られます。こうした子ども同士の自然な交流が、日本の学校生活への不安をもつ通級生の心を融かしてくれています。



江南教室は浜松市の南部に位置するため、通級生の殆どが毎朝5時に起き、電車やバスを乗り継いで登校しています。



